

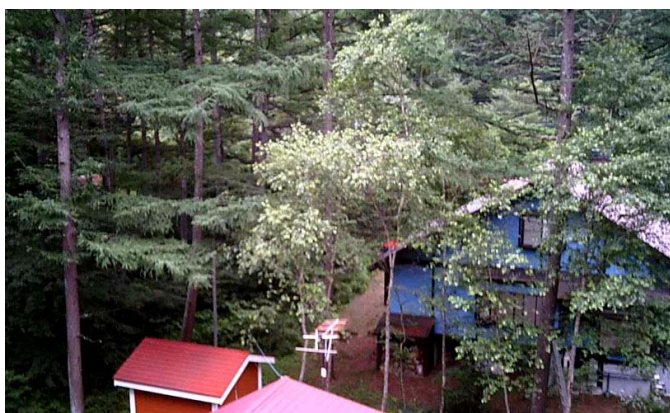
「ドローンの飛行試験(4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

玩具のような簡易ドローンであっても、普段見ることのない、上空からの視線(鳥の目線)で景色や家を見られるところが面白い。



これは、私の古い山荘を、裏庭側の斜め上空から見たところ。傾斜にゆるい屋根の上は、なかなか見ることができないが、カラマツの落ち葉がたくさん積もっていることがわかった。これは掃除が必要だ。



屋根を飛び越えて、表庭側へ。枝に注意して慎重に。



表庭の駐車場の屋根も、カラマツの落ち葉と枯れ枝で一杯だった。ここも、一回大掃除が必要だろう。



操縦で一番難しいのは、「ドローンがどの方向を向いているか」ということだ。それを見誤ると、進めたい方向の反対側に進んでしまう。この時も、自分に引き寄せようとして失敗し、屋根の上に落下してしまった。幸い、自力で再浮上でき、無事に戻ってきた。



最近、スウェーデン・ハウス風にリフォームした、離れ(アトリエ兼、無料ゲストハウス、ロフト付き)も、はじめて上空から観察できた。屋根も葺き替えたばかりなので、まだとてもきれいだ。



何度も試すうちに、相当に難しい操縦もできるようになった。母屋と離れ、それに木々の間を飛行中。

一本のバッテリーで、約15分の飛行が可能である。予備バッテリーは3本あるので、交換すれば1時間近くの飛行が可能だ。本体に装着するSDカードは、約2時間の録画が可能なので、旅行先でも活躍しそうだ。